

# 平成 18 年 10 月期 国内電信級陸上特殊無線技士 試験問題

法 規 12 問 30 分

## 法 規 ( 1 )

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

〔1〕 免許人が無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. あらかじめ申請してその許可を受ける。
2. 変更の工事に係る図面に添えて届け出る。
3. 口頭でその旨を連絡する。
4. その要旨を届け出る。

〔2〕 次の記述は、電波法施行規則の規定である。  
☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証を ☐ していなければならない。」

1. 携帯
2. 通信室に掲示
3. 無線局に保管
4. その無線局の免許人に預託

〔3〕 無線従事者が電波法又はこれに基づく処分に違反したとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 無線局の免許の取消し
2. 1 年間の無線局の運用の停止
3. 無線従事者の免許の取消し
4. 6 箇月間の業務の従事停止

〔4〕 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるときは、その無線局についてとられることがある措置は、次のどれか。

1. 免許を取り消される。
2. 空中線の撤去を命じられる。
3. 周波数又は空中線電力の指定を変更される。
4. 臨時に電波の発射の停止を命じられる。

〔5〕 固定局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。

1. 中央標準時又は協定世界時
2. 協定世界時
3. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
4. 中央標準時

〔6〕 次の記述は、時計、業務書類等の備付けに関する電波法の規定である。☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び ☐、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線従事者免許証
2. 無線検査簿
3. 無線局免許申請書
4. 免許状

## 法 規 ( 2 )

〔7〕 無線局を運用する場合において、識別信号(呼出符号、呼出名称等をいう。)は、遭難通信を行う場合を除き、次のどの書類に記載されたところによらなければならないか。

1. 無線局免許申請書
2. 無線局事項書
3. 免許状又は登録状
4. 免許証

〔8〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
2. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
3. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、無線電信により連絡を設定するための呼出しは、次のどれによって行うことになっているか。

1. 呼出事項に「OSO」1回を前置する。
2. 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
3. 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
4. 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。

〔10〕 無線電信通信において、「ラタ」を使用する場合は、次のどれか。

1. 通報の送信が終わるとき。
2. 通信が終了したとき。
3. 周波数の変更を完了したとき。
4. 通報がないことを通知しようとするとき。

〔11〕 無線電信通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、無線局運用規則では、1分間について何字と規定されているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 85字
2. 75字
3. 60字
4. 50字

〔12〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその□を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 相手方及び記録
2. 情報
3. 通信事項
4. 存在若しくは内容